

SPORTMAX

スポーツマックス 2027 年春夏コレクション



スポーツマックスは 2026 年 9 月 25 日午前 11 時 30 分（現地時間）、ミラノの歴史的建造物「パラッツォ・リッタ」にて、2027 年春夏コレクションショーを開催いたしました。

今コレクションは、ヨーロッパで続く記録的な熱波を背景に、これからの夏に向けた軽やかなテーラリングを提案します。ガラス職人が炉の熱を利用して形を生み出すように、熱を創造の力へと変え、驚くほど軽い構造と繊細な透け感を追求しました。シアーなテーラリング、透明なアクセサリ、透ける色を重ねて生まれるグラデーション。あらゆるシルエットに軽やかさが息づき、涼を求める身体を映し出します。

テーラリングには秋のスーツの面影を残しながら、ピンストライプのヴォイルやトロピカルウールを用いて軽やかに再構築。開いたパネルが、錯視のような表情を生み出します。ピンストライプのトラウザーズの下にはバミューダショーツを忍ばせ、ビジネスウェアの端正さと、暑い季節にふさわしい解放感を両立。構築的なジャケットには丸みのある柔らかなラインのボトムスを合わせ、ミルフィーユのように重なる色彩で奥行きを加えました。

カラーパレットは、ガラス越しに見える水の真珠のような色彩から着想。水彩画を思わせるグレーやブルーから、鮮やかな宝石の色へと広がります。エクリュ、オレンジ、ブラッシュピンクのシルクやヴィスコースのオーガンザを重ねることで、繊細なグラデーションが生まれます。アンティークのヴェネチアンレースのテーブルクロスは、刺繍ではなくプリントへと姿を変え、かつての面影を残すモチーフに。上から重ねたオーガンザのトレンチコートが、その表情を見せながら、同時に覆い隠します。長いベルトやウエストバンドは、しなやかなシルエットのボリュームをまとめ、風をはらむフォルムに輪郭を与えます。

マックスマラー ジャパン コミュニケーション

TEL : 03-5467-3707 info@maxmara.co.jp

SPORTMAX

レザーには、構造を解きほぐすアプローチを採用。柔らかなナッパレザーやスエードを、装飾を削ぎ落としたドレスやミニマルなボクサーショーツ、スリーブレスジャケットに仕立てました。コートには身体に風を通す可変式のパネルを取り入れています。布帛よりも柔らかなドレープを描くデニムリヨセルや、スーツのラベルを胸元に平らに縫い付けたトロンプルイユのディテールも、夏のフォーマルウェアに新たな可能性を示します。

構造には建築からの着想も取り入れました。アコーディオンプリーツは、レτζョ・エミリア駅の内部構造を想起させます。穴を開けたパネルにはカーテンのようにドローコードを通し、その「レール」をバギートラウザーズやドレスのウエストラインへと展開。シルクジョーゼットは金属の下でねじれ、流動的なラインを描きます。

軽さのなかに構造を見いだす試みとして、テーラリング用の生地を流れるようなフォルムの輪郭にボンディングし、シルエットを保ちました。ミニドレスのネックラインや変形タンクトップにはメタルフレームを通し、イブニングウェアのシャープな構築性を表現。ニットウェアはヴィンテージのスイムウェアとその表情豊かなジャカードに着想を得て、仕事帰りにビーチへ向かうような自由な気分を添えます。シューズとジュエリーにも透明感を貫き、ファアーをあしらったスライドサンダル、氷柱のような装飾を施したパンプス、向こう側が透けて見えるハイブーツを展開。シグネチャーのハードウェアと氷を思わせるディテールがアクセントを加えます。

コレクションの終盤には、これからの夏に必要なものを脱ぎ捨てたかのように、重さや不透明さ、黒が姿を消します。残るのは、軽やかでありながら機能的なワードローブ。透明なアクセサリーは、ガラスの水に浮かぶ氷のような清涼感をもたらします。スポーツマックスが追求したのは、未来の夏の暑さに応える、限りなく軽く、揺るぎなくテラードな装いです。

#SportmaxSS27

#Sportmax